

季刊・オーディオ アクセサリー

Audio Accessory

2019 AUTUMN 174

世界のアンプブランド その進化と開発思想、音質を探る

DENON



重点アクセサリー研究

ケーブル進化論②

最先端スピーカーケーブル
徹底比較

Recording, Mixing and Mastering by
Saburo Ubukata

Saburo
Ubukata
Rec Collection

三生
郎形

Track 01-02 © 2018 Denon Inc.
Track 03-11 © 2018 NAKAMICHI Inc.
Track 01-11 Patti's Way / d2b.com
Track 12-13 Denon Worldwide / d2b.com

特別付録
「生形三郎
レック・コレクション」



A A誌の注目記事
WEBでも楽しめます

●ブランドの成り立ちと歴史
スピーカーからスタート
いまでは録音も手がける

アコースティック・アーツはドイツのシュトゥットガルト近郊のラッフェンに本拠を置くブランドである。経営を行っているのはシヤンク一族のファミリービジネスであるシヤンク・オーディオ・エンジニアリングという会社だ。会長のフリッツ・シヤンクは世界的な産業ロボットメーカーを経営していた。その企業を売却したことアコースティック・アーツは1996年に誕生したのである。現在は、15歳の頃からスピーカーを作っていたハイルブロン工業大学出身で修士号をもつ兄のマーティン・シヤンクが開発部門を担当し、弟のシュテファン・シヤンクが商業部門を担当している。彼らが最初に手掛けたのはアンプではなくスピーカーだったのは興味深い（現在は生産を完了しているようだ）。オーディオで最も大切なスピーカーだと彼らは力説する。悪いスピーカーで録音をモニターすると、音の悪い音源しか作れないからだという。オーディオ製品を作る一方で、彼らは録音も行つており、何タイトルものLP



写真左からプリアンプTUBE PREAMP II - MK2(¥1,900,000／税別)、パワーアンプAMP II - MK3(¥2,400,000／税別)

ブランドの歴史	
1996	ドイツ、シュツットガルトにシャンク・オーディオ・エンジニアリングを設立
1997	デュアルモノラルパワーアンプのAMP IIを発表
2004	電源タップからSPケーブルに至る、アクセサリー類を発表
2008	プリメインアンプのPOWER Iを発表。
2009	ACCUSTIC ARTS AUDIOPHILE RECORDINGSを設立し、CD Uncompressed Worldシリーズを発表
2010	初のチューブ・ハイブリッド技術を採用したREFERENCEシリーズを発表
2016	ダンピング・ファクターの直線化技術を搭載したAMP II - MK3を発表

をプレスしてきた。録音現場で得た知識が製品に反映されているのは言うまでもなく、製品の信頼性にも貢献している。

- ブランドの技術背景
- 剛性が高く緻密な筐体を採用
- DFAクターを重視した設計

現代のメーカーらしくアコースティック・アーツはアンプをメカトロニクスと認識しているようだ。筐体は非常に高剛性で、緻密かつ精密に作られている。剛性の高さは必ずや音に影響する。製品開発はカット&エラーを繰り返すことを行っているようで、一足飛びに技術的理想を達成するタイプではない。したがって「予告なき仕

世界のアンプブランド — ③

ACCUSTIC ARTS

アコースティック・アーツ (ドイツ)

技術的なアプローチだけではなく
録音現場の意見も取り入れて製品開発

Text by 石原俊 Shun Ishihara

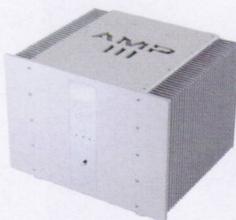


開発者からのメッセージ

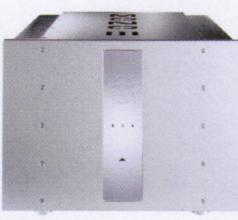
SCHUNK AUDIO ENGINEERING
社長 兼 技術開発
Martin Schunk 氏

あらゆる面において、唯一であること。これこそアコースティック・アーツが、設立されて以来今日まで堅持している開発理念です。その理念は、繊細さと力強さ、スピード感を見事に合わせ持つ音、どのような部屋にもマッチするシンプルなデザインなど、アコースティック・アーツが創り出す製品に忠実に反映されています。また深い関係にある録音エンジニアリング達と共に、技術的なアプローチ以外の点を様々な角度から吟味し、開発を行っているのもアコースティック・アーツ独自の開発方法と言えるでしょう。ACCUSTIC ARTSの名前はアキュレート(正確)とアコースティックを掛け合わせ、アートをプラスした造語です。

他のラインアップ



AMP III

パワーアンプ
¥3,000,000(税別)1,000W/ch(4Ω)、600W/ch(8Ω)
の大出力型。出力素子には48個のMO
S FETを使用(AMP II-MK3は24個)

MONO III

モノラルパワーアンプ
¥5,100,000(ペア、税別)出力1,100W(4Ω)のフラッグシップモ
デル。1,600VAのトロイダル電源トランスを
2基搭載

POWER I - MK4

プリメインアンプ
¥1,300,000(税別)
200W/ch(4Ω)、135W/
ch(8Ω)の出力を持つプリメイ
ンアンプ。オン/オフが可能な
ヘッドフォンアンプ搭載

様変更」は頻繁に起こるようだが、これはエンジニアの良心の表れといえそうだ。パワーインプはダンピング・ファクター優先主義の設計思想で作られており、ダンピング・ファクター数値の直線化が良好なサウンドを産むというアナウンスがなされている。しばらく前から真空管を素子の一部に起用し始めたプリアンプをラインアップするようになつた。おそらくは真空管の過渡特性の良さを認めたのだろう。現代のモデルらしく真空管は調整なしで交換できるそうで、これはユーチャーにとってありがたい。同社はアンプメーカーではあるが、ケーブルや電源系のアクセサリーに冷淡ではない。自社の音

アコースティック・アーツのアンプの音は総じて趣味が良い。ワイヤレンジで、SN比と分解能とともに高いのだが、ピアノのペダルメカニズムのような樂音以外の要素は強調しない。それでいて、ピアノの構造に起因する音像の移動は明確に描くので、フレージングにうねるような動きがつく。音には直接関係ないが、プリアンプ

をアクセサリーによって改変してほしくないのだろう。このあたりの姿勢も同社のアンプの信頼性につながっているように思う。

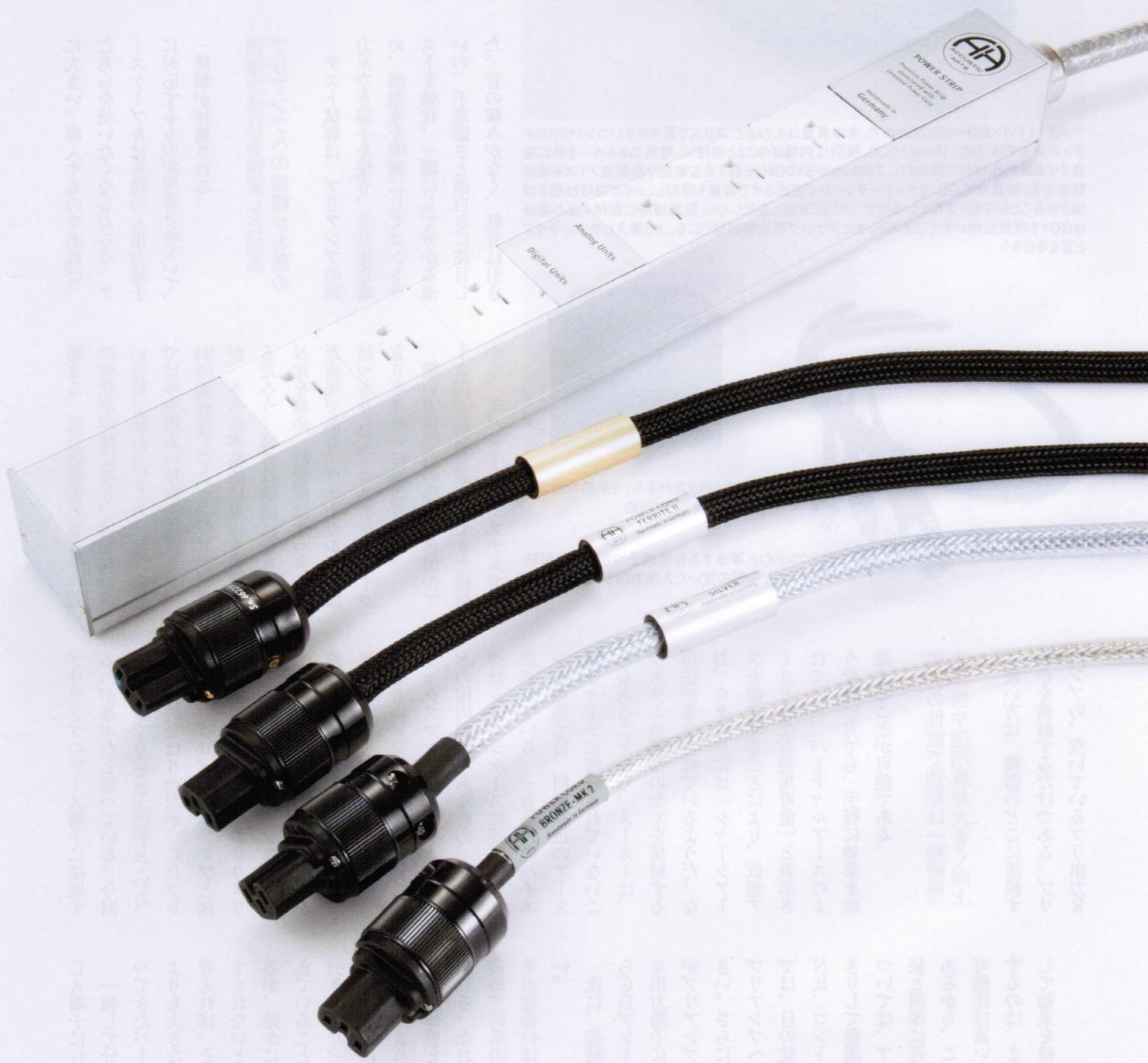
TUBE PREAMP II - MK2とAMP II - MK3を組み合わせた際に聴いた音を思い出しながら本稿を書いているのだが、この組み合わせは「独逸的雰囲気」を醸し出すのが上手い。これはクラシックをよく聴くリスナーにとって大きな意味をもつ。というのもクラシックの名曲の大半はドイツ語圏で作曲されたからだ。この感覚は日英米等のアンプでは出せない。これは民族的なことががらなのでどうしようもないのだ。

- 代表モデルのサウンド
- ワイドレンジでSN比と分解能がともに高い

ハイエンド・コンポーネントブランドの オーディオケーブルを聴く

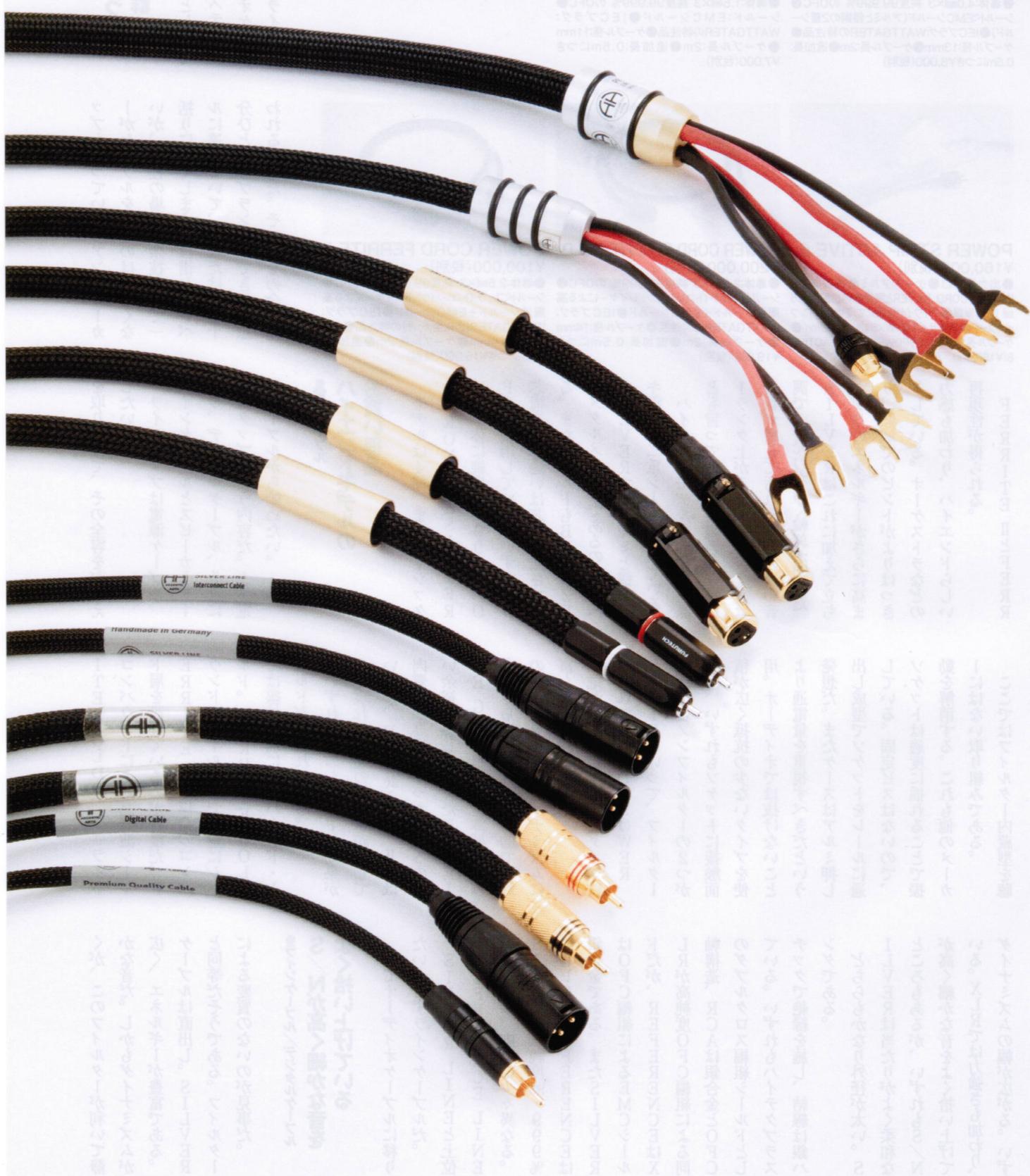
Text by
井上千岳
Chitake Inoue

Photo by 田代法生



ドイツのACCUSTIC ARTS(アコースティック・アーツ)は、アンプ類を中心とした製品群で知られるハイエンド・コンポーネントブランドである。と同時に充実したラインアップを持つケーブルブランドでもある。コンポーネントの設計で培ったノウハウをケーブル類に応用し、グレードの高いモデルを世に送り出している。ここでは、そのラインアップ全てを紹介したい。

ACCUSTIC ARTS





REFERENCE LINE Interconnect analog (Unbalanced)

¥200,000(ペア/税別)

●導体:銀合金●導体面積:1.2mm²●シールド:銀合金とOFCによるダブルのクロス編組EMCシールド●RCAプラグ:Furutech(ロジウムメッキ)●ケーブル長:1m●追加長:0.5mにつき¥28,000(税別)



SILVER LINE Interconnect analog (Balanced)

¥80,000(ペア/税別)

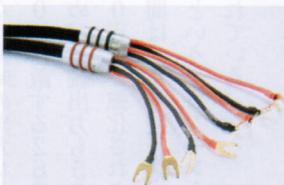
●導体:純度99.999%のOFC●導体面積:0.6mm²●シールド:純銀メッキされたOFCによるEMCシールド●XLRプラグ:Neutrik(金メッキ)●ケーブル長:1m●追加長:0.5mにつき¥16,000(税別)



SILVER LINE Interconnect analog (Unbalanced)

¥80,000(ペア/税別)

●導体:純度99.999%のOFC●導体面積:0.6mm²●シールド:純銀メッキされたOFCによるEMCシールド●RCAプラグ:金メッキ●ケーブル長:1m●追加長:0.5mにつき¥16,000(税別)



TOP LINE MK3 (bi wiring)

¥240,000(税別)

●導体:4.0mm²×4 純度99.999%のOFCツイスト構造●ケーブル径:14mm●末端処理:スペードもしくはバナナプラグ●ケーブル長:3m(ペア)●追加長:0.5mにつき¥26,000(税別)



DIGITAL LINE Interconnect digital (Balanced)

¥40,000(税別)

●導体:純銀メッキされた純度99.999%のOFC●導体面積:0.5mm²●シールド:2重シールド●XLRプラグ:Neutrik(金メッキ)●ケーブル長:1m●追加長:0.5mにつき¥8,000(税別)



DIGITAL LINE Interconnect digital (Unbalanced)

¥40,000(税別)

●導体:純銀メッキされた純度99.999%のOFC●導体面積:0.5mm²●シールド:2重シールド●RCAプラグ:金メッキ●ケーブル長:1m●追加長:0.5mにつき¥8,000(税別)

REFERENCE LINE Interconnect analog (Balanced)

¥200,000(ペア/税別)

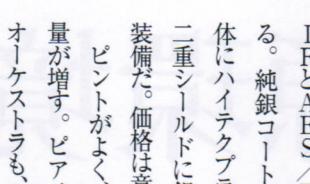
●導体:銀合金●導体面積:1.2mm²●シールド:OFCによる編組EMCシールド●XLRプラグ:Furutech(24K金メッキ)●ケーブル長:1m●追加長:0.5mにつき¥28,000(税別)



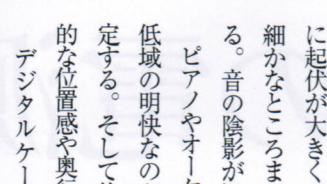
PREMIUM LINE MK3 (bi wiring)

¥400,000(税別)

●導体:4.0mm²×4 500本の純度99.999%のOFCツイスト構造●ケーブル径:14mm●シールド:フェライトコアワードの高周波シールド●末端処理:スペードもしくはバナナプラグ●アースケーブル:アンプ側のみ●ケーブル長:3m(ペア)●追加長:0.5mにつき¥38,000(税別)



Rとも共通するが、ここではさらにはRCAsもXLRもほとんど音調に違いがない。S/Nがいいのと



エネルギーが高いのはSILVE RE Rとも共通するが、ここではさらにはRCAsもXLRもほとんど音調に違いがない。S/Nがいいのと

偏りがなく、情報量が豊富で品位の次元がぐんと上がる印象である。

高品位な材質と精密な作りが高度な再現力を引き出している

低域の明快なのが切れのよさを決定する。そして位相が揃い、空間的な位置感や奥行きが鮮明である。

デジタルケーブルはS/PDIFとAES/EBUの両方があ

る。純銀コート5N OFCの導体にハイテクプラスチックの絶縁、二重シールドに銀ハンドという重装備だ。価格は意外に手頃である。

REMIUMは単体当たり500本という極太仕様で、またフェラ



『Blue Minor / ジョー・ガヤルド』
ACCUSTIC ARTS
¥8,000(税別)

イト・コンパウンド・シールドも施されている。さらにアース線が組み込まれているのもPREMIUMの特徴だ。なおいずれもバイワイヤとシングルがある。今回はバイワイヤモデルを試聴した。

TOP LINEは他のジャンルと同様、情報量が豊富で解像度が高い。音場が奥へ引いて、ピントがよく、芯が通つて情報量が増す。ピアノやマドリガルもオーケストラも、とにかく正確な

TOP LINEは他のジャンルと同様、情報量が豊富で解像度が高い。音場が奥へ引いて、ピントがよく、芯が通つて情報量が増す。ピアノもオーケストラも鮮度が高い。峻烈な瞬発力もひと際増す。PREMIUMは輪をかけて音数が増え、実感が圧倒的だ。そしてアンプへアースを取ると静か

れにしてもニュートラルで音調に鮮やかで、この精度が実際に頗もしい。

さが目に見えて際立ち、音だけが浮き上がってくる。エネルギーも豊かだが、じわりと押し寄せてくる感触がまさに空間の存在感そのものなのである。溢れるような生の手触りが満喫できる再現だ。

スピーカーケーブル

音場が奥へ引いて ピンポイントで焦点が合う

アンプメーカーだからどうこうという理屈はともかく、高品位な種である。純度99.999%のOFCによるツイスト構造。特にPREMIUMは単体当たり500本という極太仕様で、またフェラ

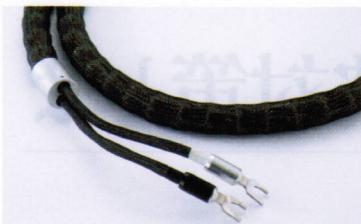
さでスピーカーケーブル。これ

もTOP LINE MK3とPREMIUM LINE MK3の2種である。純度99.999%のOFCによるツイスト構造。特にPREMIUMは単体当たり500

本という理屈はともかく、高品位な再現力を引き出しているのは間違いない。改めてその実力を実感したのである。

新録音のCDが登場

アコースティック・アーティストのオーディオファイル用CD「UNCOMPRESSED WORLD」シリーズとは別に、録り下ろしのアルバムが登場した。アメリカのトロンボーン奏者で作曲家のジョー・ガヤルドの1枚で、自作曲を中心としたスタンダード・ナンバーも含めて11曲。潤色のない素のままのような音調で、トロンボーンやトランペットが厚く暖かい音色で心地よく流れ。ウッドベースもピアノも手触りがよく、人工的な細工をまったく感じない録音だ。



INAKUSTIK
LS-2404 Air

¥520,000 (税別 / 3.0mペア)

▶ Specifications

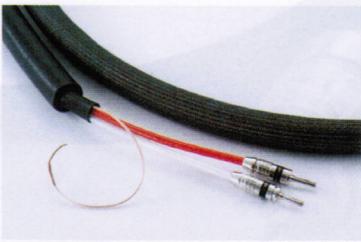
- 導体:OFC●構造:エア・ヘリックス・ストラクチャー (スーパー・スピード・ウェーヴガイド) ●被覆:PEネットワークジャケット●端子:オリジナルロジウムメッキYラグ(特注にてパナソニック作成可能)●取り扱い:(株)ユキム

音質傾向表	エネルギーバランス	低域強化	高域強化
音色	クール	ウォーム	
表現力	繊細系	迫力系	
空間性	音場重視	音像重視	

ストレートで生々しい鮮度の高さが魅力

編組状としたラッカーコーティングOFC芯線を、プラス/マイナス4本ずつ使用。特殊なクリップを通して空気絶縁としている。

信号が素のままで伝わってくるように全く変容がない。ピアノはタッチの感触が自然なだけでなく、細かい強弱や音色の変化などが目の前に見えていくように鮮明だ。あらゆる音が轟を払ったようにはっきりしている。マドリガルは音場丸ごと見える印象で、声の手触りがこの上ないほど生々しい。オーケストラは峻烈で、音圧が上がったように鮮度が高い。ジャズでも言い尽くし難いようにリアルだ。



TCHERNOV CABLE
ULTIMATE SC SP-BN265

¥725,000 (税別 / 2.65mペア)

▶ Specifications

- 導体:超高品质BRC銅●断面積:5.5スクエア×2(10ゲージ相当)●被覆:SATI(Semi-Air Tape Insulation)●シールド:X-Shield SE●サイズ(外寸):Φ25mm●取り扱い:(株)イースコーポレーション

音質傾向表	エネルギーバランス	低域強化	高域強化
音色	クール	ウォーム	
表現力	繊細系	迫力系	
空間性	音場重視	音像重視	

バランスが良く陰影の描写能力が高い

珍しいロシアのケーブルで、ごく微量の元素を意図的に含有させた独自の銅線を使用。絶縁は多孔質テフロンの5層巻き。シールドも銅箔と編組に行っている。

細かな陰影に富んで、抑揚の効いた再現性だ。レスポンスは落ち着いてバランスが良く、ピアノはタッチがきめ細かな表情を多彩に描いている。芯もくつきりしてじみがない。マドリガルは深い音場にひとりひとりの姿が浮かぶような声の出方をする。オーケストラはステージ全体が見えるような鳴り方で、響きが厚く起伏も大きい。ジャズは重厚でしかも軽い。

INFORMATION



FURUTECH

FI-8.1N (G) ¥4,500 (税別、左)
FI-8.1N NCF (R) ¥5,500 (税別、右)
●外寸:約H14.5×W21.5×L51.2mm

FURUTECH

FI-8N NCF (R) ¥6,600 (税別、左)と
FI-8.1N NCF (R)
●FI-8N の外寸:約W36.8×H28.2×
L71.0mm●取り扱い:フルテック(株)

フルテック、小型メガネコネクターを発売

IEC C7規格、通称“メガネ型”的自作用ケーブル端子は、長らく高音質タイプがなかったが、フルテックがオーディオグレードを発売し、メーカー完成品にも採用されるなど好評を得ている。この程、そのメガネ端子のニューモデルが登場。周辺スペースが狭くて従来品が挿入できなかった機器にも使用できるよう、ボディ外形を大幅にスリム化されている。「FI-8.1N(G)」の電極は金メッキで、接続方法はハンダによる。加えて、そのボディ材質にNCF素材を採用した高音質タイプのロジウムメッキバージョン「FI-8.1N NCF(R)」も発売。また、従来タイプのネジ留め式ロジウムメッキモデルにも、NCF素材を採用した上位モデル「FI-8N NCF(R)」が加わった。



audience
AU24SX-SP-1.5M-B-B

¥387,920 (税別 / 1.5mペア)

▶ Specifications

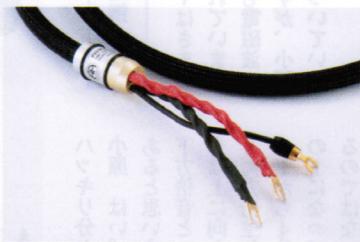
- 導体:OCC●絶縁:XLPE●処理:クライオ処理●取り扱い:オーディエンスジャパン(株)

音質傾向表	エネルギーバランス	低域強化	高域強化
音色	クール	ウォーム	
表現力	繊細系	迫力系	
空間性	音場重視	音像重視	

偏りのない音調で音楽を緻密に再現

純度の高いOCC銅を導体とし、高品質な架橋ポリエチレンで絶縁。各パーティはクライオ処理を施してから組み立て、その後再度クライオ処理を行っている。

情報の緻密な再現性だ。ピアノは豊富な音数が整理されて、偏りのない音調を得ている。低音部のタッチにもじみがない。マドリガルも声の出方がデリケートで、アンサンブルが丁寧に描かれる。くせや自己主張が全く感じられない。オーケストラは鮮烈だがバランスが大変良く、安定して刺もない。ジャズはひとりでにリズムが湧き上がってくるようだ。



ACCUSTIC ARTS
PREMIUM LINE MK3

¥380,000 (税別 / 3.0mペア)

▶ Specifications

- 導体:純度99.999%OFC●断面積:4.0スクエア×4●絶縁:特別な二重レイヤー構造の絶縁●シールド:EMCシールド(三重)●サイズ(外寸):Φ25mm●取り扱い:(株)ハイ・ファイ・ジャパン

鮮度が高く音場感の表現が秀逸

5NOFCを500本ツイスト構造とし、2層で絶縁。フェライト・コンパウンドほか3重シールドを施している。

情報量の豊富さと鮮度の高さが圧倒的だ。ピアノはシャープなタッチだが当たりが円やかで、ピントがよく合っている。フォルテは文句なしに強弱部ではデリカシーに富む。マドリガルは空間と声の存在感が大変鮮明だ。そこにいるのを見る思いである。オーケストラもホールの音場そのもので、スケールと量感に溢れた響きが鮮烈に描かれる。ジャズのリアリティも全く同様だ。



THE CHORD COMPANY
Sarum T

¥455,000 (税別 / 2.0mペア)

▶ Specifications

- 導体:銀メッキポリッシュド高純度OFC●断面積:5.26スクエア●絶縁:タイロン●構造:ツイスト構造●サイズ(外寸):2×8.5mm●取り扱い:アンダントラルゴ(株)

静寂で一音一音を綿密に描き出す

軍需用素材タイロンを絶縁材に使用し、テフロンなどとはひと桁違うという絶縁性能を実現した準フラッグシップモデルである。

静寂でひとつひとつの音が緻密に描き出されている。ピアノは誇張や偏りのないレスポンスで、タッチは芯がクリアで明確。細かな余韻も丁寧に描き分け、ニュアンスに富んだ再現を展開する。マドリガルは声楽のアンサンブルが典雅に鳴り、響きが透明で伸びやかだ。オーケストラも解像度が高く、しなやかで細部まで瑞々しい。ジャズは粒立ちが良く、端正で流麗な出方をする。



Finest Music Components
Handmade in Germany

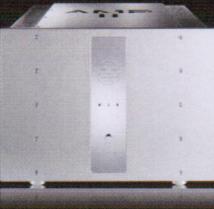
フルラインアップまで拡大したアコースティック・アーツのリファレンスラインを
最上の組み合わせで実演！

ダイナミックオーディオでご試聴いただけます。

DYNAMIC AUDIO

7F

AMP III
TUBE PREAMP II
TUBE DAC II
DRIVE II
RACK II



「しなやかな切れ味」

DYNAMIC AUDIO

6F

MONO III + BASE
TUBE PREAMP II
TUBE DAC II
TUBE PHONO II
DRIVE II



「意外な温もり」

DYNAMIC AUDIO

4F

AMP III
TUBE PREAMP II
PLAYER II
PLAYER ES



「やさしい音」

DYNAMIC AUDIO

Trade Center

POWER I
AMP III
TUBE DAC I
PLAYER II
PLAYER ES



「ストレートな存在感」

株式会社 ハイ・ファイ・ジャパン

〒102-0075 東京都 千代田区 三番町1-8

tel: 03-3288-5231 fax: 03-3288-5233

www.acousticarts.com / www.hifijapan.co.jp